

Q

都市計画道路の整備計画は

A

周辺道路の交通を考慮し検討

齊藤 芳久 議員

質問一 都市計画道路は、高度成長期に決定されたが、経済が悪化した現在では施工が進んでいない。

ウ 川越鶴ヶ島線について。
工 共栄鶴ヶ丘線について。

道路予定地の市民は不安を抱えており、また、道路予定地では開発が進んでおり、今後多くの問題が出ると思われる。都市計画道路の考え方について。

答弁一 ア(市長) 信号機設置等の交通安全対策を講じ、平成25年度の早い時期に開通したい。
イ 都市計画決定している道路が25路線、総延長で約41・7キロある。

市が整備する都市計画道路は19路線、総延長24・5キロで、整備率は65・2割である。優先度の高

ア 共栄一本松線の開通の時期は、都市計画道路の整備方針は。

市が整備する都市計画道路は19路線、総延長24・5キロで、整備率は65・2割である。優先度の高

い路線の整備は、周辺道路の交通事情の変化を考慮し検討していく。
ウ (仮称)新川越越生線の国道407号バイパス以南に含まれ、県が事業主体となり、整備を行う。407号以北の都市計画決定の後に諸手続に入るが、農業大学校跡地に関連した具体的な話はない。
工 共栄鶴ヶ丘線は、共栄一本松線から富士見通り線の区間を優先的に整備する。

◎**その他の質問** 一般道路の管理について

米飯給食の拡充と「弁当の日」

Q

更新施設は毎日の米飯給食も可能

A

川合 利枝 議員

質問一 給食の食べ残しについて。

ア 保育所、学校の過去3年間の1人当たりの量について。

イ 食べ残しが多い献立について。

ウ 現状に対する対応について。

エ 主食(米飯、パン、めん類)の回数について。

オ 米飯給食の回数増加について。

カ 保育所給食、学校給食に係る乾物や調味料等の購入先について。

キ 弁当の日について。

ク 給食の食べ残しについて。

ケ 給食の食べ残しについて。

コ 給食の食べ残しについて。

サ 給食の食べ残しについて。

シ 給食の食べ残しについて。

ス 給食の食べ残しについて。

セ 給食の食べ残しについて。

て提供した献立の場合である。

ウ 指導の積み重ねで食べ残しが減っていくよう努力する。

二 週5回のうち米飯2・3回、パン1・9回、めん類0・8回である。

三 現在は食器洗浄機の機能等から難しい。新学校給食センターでは、確実な洗浄機能を有した食器洗浄機等を設置予定なので、毎日の米飯にも対応できると考える。

四 保育所給食は複数の業者から学校給食は品目ごとに登録している業者から、購入している。

五 各学校ごとに協議してもらおう、働きかける。

◎**その他の質問** 財源確保の取り組みについて



子どもに人気の米飯給食